

唱歌「港」の成立の背景

—— 宇品築港に尽くした千田貞暁

講師：香川正弘（上智大学名誉教授）

開講日：7月6日（水）18：30-20：00 定員30名 受講料1,000円



写真：千田貞暁¹

講義の要旨：唱歌や童謡などには、歌の背景になった場所というものがあります。明治時代に最もポピュラーだった国民唱歌のひとつが「港」です。この歌は広島宇品港の活気ある賑わいを歌ったものです。歌の場面となった宇品港は千田貞暁知事の強いリーダーシップでつくられました。千田知事は、貧窮士族の救済と広島が発展していくには港の整備が不可欠であるという信念に基づいて、艱難辛苦を克服し、市民総出・県民支援でこの事業を明治22年11月に完成させ、港と広大な干拓地を得る事ができました。広島にとって宇品築港の功績ははかりがたく大きく、大正14年に国泰寺村を千田町と改名し、千田廟を造営して千田氏を顕彰し、毎年4月23日、千田祭を行い、次のような詩吟柴崎寛山作「讃千田男爵」を吟詠しています。

一誠県令姓千田 抛擲私財志益堅

築港遺勲民望厚 繁栄宇品覃祥烟

近代広島の発展の基はこの築港にあったといっても過言ではありません。唱歌を通して築港の背景と歴史的を考えようとするのが、この講義です。



講師紹介：香川正弘（かがわ まさひろ）

1942年、広島県生まれ。広島大学大学院教育学研究科博士課程単位取得中途退学、教育学博士（広島大学）。上智大学名誉教授、専門科目は生涯教育論、研究は「イギリス大学拡張成立史」。NPO法人全日本大学開放推進機構理事長。著作：『よくわかる生涯学習』（共編、ミネルヴァ書房）。趣味は社寺巡り。NPO法人全日本大学開放推進機構 www.uejp.jp

※受講をご希望の方は、①お名前、②年齢、③連絡先、住所をご記入の上で下記にE-MailもしくはFAXにてお申込みください。

コミュニティ・アカデミー上幟

FAX： 082-225-8103

E-Mail： c.a.kaminobori@outlook.jp



¹ https://ja.wikipedia.org/wiki/%E5%8D%83%E7%94%B0%E8%B2%9E%E6%9A%81#/media/File:Senda_Sadaaki.jpg